

令和8年
10月25日執行

遠野市議会議員選挙公報

遠野市選挙
管理委員会

市民の皆様と一緒に未来あるまちづくり

昆あけみの7つの約束

① 観光振興

選ばれる観光地、遠野へ。
お客様目線に立った受入環境の整備と満足度向上を推進

② 地域交通

市民の暮らしに即した持続可能な交通網へ再構築

③ 農業、地産地消

学校給食での地元食材使用率（51.9%）をさらに高め、
安定供給体制の強化と販路拡大による農業所得の向上推進

④ 子育て支援

第一子からの保育料無償化など安心して子育てできる環境の充実を推進

⑤ 障がい者支援

経済的自立につながる支援体制の構築を推進

⑥ 暮らしの安心

小さな声にも迅速に応える、行動する市政を実現

⑦ 現場主義

現場第一主義を徹底し、市民の声をスピード感を持って政策に反映

昆あけみ

こんあけみ

佐々木ゆきひろが目指す5つの『輪』

話・和・輪
人と人との絆を大切に

インフラ整備

生活基盤に直結した
問題箇所の適正

地域活性化・経済

雨季や雨天でも使える
練習環境整備

教育と福祉

子供たちの挑戦を応援し
未来への道を広げる

強いまちづくり

地域の連携
(家庭・学校・見守り隊や行政)

人口減少への歯止め

若者が残り、戻り、
来なくなるようなまちづくり

人と地域の絆で 未来の遠野を

佐々木ゆきひろ

向き合う。遠野の未来のために

遠野学習塾塾長 35歳

教育の現場で10年。

教育×AIで未来をつくる

ACTION 1
教育・不登校支援

子どもだけでなく、支える保護者にも支援を
新しい制度を増やすことを先に考えるのではなく、「かりん教室」や「たんぽぽ会」など、今ある支援を必要とする家庭につなげることからはじめます。

ACTION 2
AI活用による負担軽減

人が人に向き合う時間を増やす
AIの導入自体が目的ではありません。現在働いている市職員や教職員の負担を減らすための活用を考えています。(大学時代AIの基礎理論を研究)

ほどくま雄也

物価高から暮らし守る遠野を

◆ 高すぎる国保税 一世帯1万円の引き下げを
国保基金1億9千万円の一部を使い実現します。

♠ 中学校の給食費を無料に
保育料は第一子からゼロ。教育費の負担を軽く。

♥ 国民年金でも入れる特養ホームの増床
介護保険料・利用料の負担軽減。介護職員の待遇改善を

♣ 備蓄米の早期全量買い戻しで米価の安定を
農業機械購入への補助を。

くらし支える財源はあります

財政調整基金 15億6千万円
国保基金 4億9千万円
その他基金 21億8千万円

●1954年、青笹町生まれ●72年、遠野農業高校卒●2009年から24年、農業委員●サッカー指導者としてブラジル・アルゼンチンを7度訪問●家族は妻・母

憲法9条守り生かす 大企業と富裕層に負担求め消費税一律5%

奥寺はるお 日本共産党

投票日は
十月二十五日（日曜日）です。

投票時間は、午前七時から午後六時までです。
市議会議員選挙は、これから四年間私たちを代表して市政に参加する議員を選ぶ大切な選挙です。十月二十五日の投票日には、おでかけ前に、あるいは仕事の合間を見て、あなたの尊い一票を無駄にすることなく早めに投票をしてください。

◆市議会議員選挙の投票用紙（見本）

令和八年十月二十五日執行

遠野市議会議員選挙投票

印

○ 注 意
一 候補者の氏名は、欄内に一人書くこと。
二 候補者でない者の氏名は、書かないこと。

候補者氏名

(注) 投票しようとする候補者の氏名を書きまじよう

選ぶ人の氏名をはっきりと!!

投票用紙には、あなたが選ぶ候補者名をはっきりと書いてください。特に市議会議員選挙では候補者がたくさんいますので、名字と名前を確認し、はっきり書くようにしてください。
なお、投票用紙には氏名以外の雑事を書いたり、誰を書いたかわからないものや、次のような投票は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。
● 投票用紙以外のものに書いて投票したもの。
● 候補者でない人の氏名を書いたもの。
● 二人以上の氏名を書いたもの。
● 候補者の氏名以外に他のことを書いたもの。
● 記号等を書いたもの。

問い合わせ先
遠野市選挙管理委員会
電話 六二二二二二

一票に託すみんなの大きな願い

令和 8 年
10月25日執行

遠野市議会議員選挙公報

遠野市選挙
管理委員会



た だ し
多田 つとむ

未来につなぐ遠野市づくりを課せられた責任を自覚し、着実な遠野市の発展を
目指した活動に邁進してまいります。
皆様から一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。
市民皆様との触れ合いが私の元気の源
遠野で生活することに安心を実感
・住みたい、住んで良かったと思える遠野にする
・子供から高齢者まで、誰もが笑顔で日々過ごせる遠野を描き続ける
・頻発する自然災害などに迅速に対応できる体制強化と関連施設の早期
整備の推進により市民の生命財産を守る
一次産業の持続可能な経営基盤の確立
・遠野市の生業を支えるのは農畜林業であることに間違いなし
・商工業の現状課題解決への対策を構築し、支援強化に取り組む
・恵まれた森林資源の更なる価値向上を目指し、森林機能の維持、保全を図る
遠野市の歴史ある伝統文化の恒久的継承・保存活動への支援強化
・後継者不足が深刻化する中、継承・保存活動に向けた団体間連携、意識
高揚に資する
経歴及び現役職
旧宮守村議員、旧宮守商工会事務局長、駒沢小学校PTA会長、旧遠野高等学校情報ビ
ジネス校PTA会長、社会福祉法人とまり会理事、保護司、遠野地方森林組合副組合長
遠野わさび生産者協議会副会長（現）、宮守郷土芸能保存会副会長（現）、遠野地方森林
組合総代（現）、早池峰開天神楽代表（現）

これまでの2期8年で培ってきた経験を大切にしながら、3期目はこれまで以上に結果に
こだわり、暮らしに直結する課題に丁寧に取り組んでまいります。子育て、福祉、防災、
地域経済、財政、そして人口減少、市民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりのために、
現場の声を市政につなぎ、全力を尽くしてまいります。初心を忘れず、経験を力に変え、
今後もより身近で信頼される議員として働いてまいります。

菊池ひろしが目指すもの

遠野の未来を
一緒に考える

- 1 まちづくりは人づくりから
・子ども達はまちの宝、その能力が発揮できるまち。
・生涯学習の推進で健康で安心して生活できるまち。
- 2 高齢者がいきいきと活動して安心・安全で
暮らせるまちを目指します。
- 3 子育て環境が充実して若い家族が住みたい・
住んでよかった、そう思えるまちを目指します。
- 4 スポーツ、郷土芸能を活かした交流人口の増加と
経済活動の活性化に取り組みます。
- 5 生まれたまちにもどってきたいと思えるまち。

菊池ひろしプロフィール 1960年5月生まれ。岩手県立遠野高等学校卒業
家業の森永牛乳販売店を継承
・遠野市議会議員 ・産業建設常任委員会 副委員長 ・議会改革推進委員会 副委員長
・若もの参画推進特別委員会 副委員長 ・議会運営委員会 委員 ・遠野地方森林組合 理事
・遠野町スポーツ協会 会長 ・遠野市バレーボール協会 理事長



菊池ひろし

遠野プライド

子供たち、孫たちのために、
新たな発想が必要です。
遠野に生まれて本当に良かったと
心から思えるまちづくりに全力を
注ぎます

- ◎声を良く聞いて、見て、感じて、
行動に移します
- ◎生まれ育った遠野に恩返しします
- ◎子育て世代の意見を反映させる
ため、顔の見える活動を続けます



宣言します

- ◎命を守る体制を強化します
- ◎国土強靱化、防災減災対策を推進します
- ◎地域経済を支える中小・小規模事業者を
支援します
- ◎遠野の農業を振興します
- ◎デジタル技術で効果的に遠野の課題を解
決します
- ◎先導的共生社会のまちをつくります
- ◎平和学習を充実します



菊池よしや

声を力に・改革・挑戦

ごあいさつ

私はこれまで、市民の皆さまの声をもとに、議会での質問や
提言を重ね、子育て環境の充実、地域経済の活性化、公共交
通の課題への改善などに取り組んで参りました。
大切にしているのは、市民の声をきちんと市政に届け、結果につなげることです。人口
減少や財政課題など、将来に向けて乗り越えるべき壁は多くあります。だからこそ、こ
れからも声を力に変え、ひとつずつ課題解決に向け、責任をもって取り組んで参ります。

- 5の政策
- 1 安心して暮らせる毎日へ
 - 2 ムダのない市政へ
 - 3 地域で稼ぐ力を取り戻す
 - 4 未来に責任を持つ
 - 5 声が届く市政へ

千田ゆみこプロフィール 1967年 遠野市小友町に生まれる。岩手県立遠野高等学校卒業
職歴 (関東圏) コンピュータ関連会社勤務、外資系会社勤務 ※経理事務、営業事務、CAD設計補助
(遠 野) 遠野市役所臨時、登記簿専門員
公職・団体歴 遠野市立小友小学校PTA会長、遠野市立遠野西中学校PTA会長、遠野市教育委員会委員
現在 保護司、
遠野市議会議員 (1期目)・総務常任委員会 副委員長・広報広聴常任委員会 副委員長・議会改革推進
委員会委員・ICT推進検討特別委員会委員・若もの参画推進特別委員会 委員長・市政調査会 幹事



ち だ
千田 ゆみこ

農業で遠野を元気に！

- ・田んぼに行きます。
- ・畑に行きます。
- ・地域で暮らす皆さんの声を
最後まで聞きます。
- ・農業が元気なれば、商売も
元気になります。
- ・子供たちの未来にも希望が
生まれます。



見ていじ

安心と笑顔が続くまち “とおの”を創る

私が目指すとおの街づくり

私は市議会議員として2期目
の活動を続ける中で、培ってき
た経験を活かしながら「市民皆
さの声を市政に届ける」を第一
に活動してまいりました。人口
減少や地域経済の課題、暮らし
の安心安全づくりなど、まだ取
り組むべきことがたくさんあり
ます。
これからも、次の世代に誇れ
るまちを残すために全力で取り
組んでまいります。

宮田 勝美

- 優しさと活力ある
街づくり**
中心市街地活性化と人口減少対策
- 未来のための
環境整備**
空き家対策 インフラ整備
- 各世代が安心して
暮らせる街づくり**
子育ての声がたくさん聞こえる街づくり
少子高齢化と介護対策
- 暮らしの中の安心
安全な街づくり**
市民生活を守るための対策



み や た
宮田 かつみ

令和 8 年
10月25日執行

遠野市議会議員選挙公報

遠野市選挙
管理委員会

選ばれ遠野

～選ばれた遠野から、選ばれる遠野へ～

生涯教育による学びを通して、一人ひとりのウィルビーイングを高め、皆で協働し、挑戦し、発信する。

学びが人を育て、人が地域を育てる。子育て、福祉、産業、地域づくりを「学び」という土台でつなぎ、一人ひとりが自分らしく活躍できる遠野へ。

そして、これまで「選ばれた」遠野の魅力を未来につなぎ、これからも「選ばれる」遠野を、皆さんと一緒につくっていきます。

「選ばれ遠野」に込めた想い

「選ばれ遠野」には、「選ばれた」と「選ばれる」の両方の意味を含めています。

これまで多くの人に選ばれ、愛されてきた遠野の魅力を大切にす。そして、その魅力をさらに磨き、これからも市内外・県外から「選ばれる」遠野をつくっていく。

過去から受け継いだものを大切にしながら、新しい未来を皆でつくる。そのための土台として、生涯教育による「学び」を大切にします。



北川祥樹

経済も暮らしも、その土台は自然にある。水と土と山を守り育み、遠野の未来へ。

「田んぼを潤す一滴の雨粒は、どこから来て、どこへ行くのか。」

数年前、私は綾織にある山谷川の源流から宮城県石巻の海の手前まで、川を歩き、ボートを漕いで約190kmを下りました。そこで目にしたのは、傷んだ山と、土砂が堆積し水が濁る下流の現実でした。

かつて農政学者・石黒忠篤は「最上流の一軒家が山を守るからこそ、下流の都市の安全が保たれる」と説きました。山が水を育み、川が田畑を潤し、食べ物を育てる。毎日の食卓や蛇口から出る水、子どもたちの健康、地域の仕事や経済も、豊かな自然の上に成り立っています。だからこそ、自然を守り育てることは、私たちの暮らしを守る。遠野の自然と、そこに根ざした暮らしを次の世代へ引き継ぐため、みなさんと一緒に考え、動いていきたい。そんな思いで市議選に挑戦します。



自然を活かす

豊かな自然を未来へ
持続可能な産業創出



人が輝く

子どもから高齢者まで
一人一人が輝く



笑顔のまち

安心して暮らせるまちへ
市民の声が届く市政



想いと活動の様子は
Instagramへ

●プロフィール

伊勢崎かつひこ（52歳）

遠野市綾織町出身。妻と子ども3人の5人家族。

遠野高校卒業後、東京でパラグライダー専門誌の編集に携わり、20代後半にUターン。

環境NPO活動や林業を経て、妻とともに「風土農園」を営み、自然栽培を20年続ける。東日本大震災では「遠野まごころネット」の設立に尽力。修学旅行生の宿泊や親子地方留学、地元小学校での自然体験学習にも携わる

選挙カーは
使いません！

一人ひとりの声を聞きながら、自分の足や自転車での遠野のあちこちを回ります。見かけたら、ぜひ気軽に声をかけください。



いせぎき かつひこ

伊勢崎 克彦

守りたい遠野・つなぎたい未来

1期4年間、16回の一般質問から見えた「3つの政策テーマ」

1. 安心して暮らせる遠野市

■災害に強い地域づくりを進めます。

■安全な道路・交通環境を整備します。

■高齢者の移動支援を充実させ、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えます。

2. 産業が活きる、活力ある遠野市

「農業を基幹産業として守り、育て、次世代につなぐ」

■農林畜産業の所得向上を進めます。

■地域産業の振興と雇用の創出・拡大を進めます。

■若者が住み続け、移住先として選ばれる地域づくりを進めます。

3. 人がつながる、ぬくもりある遠野市

■子育て世代へのきめ細かな支援を進めます。

■教育・医療・福祉の充実を進めます。

■地域で支え合い、健康で暮らせるまちづくりを進めます。

ープロフィールー

昭和36年12月24日遠野市小友町生まれ。県立遠野農業高等学校卒業。

旧遠野市農協、遠野地方農協を経て、現花巻農業協同組合勤務(昭和55年4月～令和4年4月退職)。本店共済推進部長、遠野地域統括部長、遠野・上郷・宮守支店長を歴任。

令和8年5月花巻農業協同組合理事、同6月遠野テレビ取締役役に就任。

令和4年11月～市議会議員(現在1期)、産業建設常任委員会委員、遠野市政調査会副会長。



菊池ただのぶ

『ともに生きる』明日の遠野へ

皆さまのあたたかいご支援のもと、市政の場で働かせていただき2期8年となりました。

日々の「井戸端の声」が私の原動力です。本当にありがとうございます。

どんなに時代が変わろうとも

「ひとの命と暮らしを、自分のこととして大切に思う」

私の原点は決して揺るぎません。

老若男女を問わず、それぞれの個性や状況を大切にしながら、一人ひとりが孤立せず、世代を超えて支えあうやさしい地域社会の実現が今こそ必要です。

『ともに生きる』明日の遠野へ

皆さまと手を携え、前へと歩んで参ります。

感謝 佐々木恵美子



遠野の
農を生かし
食を守る



遠野の
「誇り」を
生かす



未来の
人財育成



命と
暮らしの
福祉

ささき えみこ

佐々木 恵美子

遠野の明るい未来を創るため
皆様と共に進みます！

人口流出にストップを！ 市民生活向上へのスタートを！

老いも若きも、幼児も、全世代に魅力の遠野にチェンジ！

そのために、私は5つのM(目標)を掲げます！

M1. 介護＆保育の魅力：職場環境やスタッフの待遇改善で人材の定着と新規就労を促進。

M2. 子育ての魅力：教育・託児環境の向上、利用への支援、通学・生活道路の改善で安心のホームタウンに。

M3. 互助の魅力：高齢者や障がい者の買い物・通院への寄り添い強化で暮らしのハンディキャップ緩和。

M4. 定住の魅力：若者の定住支援強化、市営住宅の整備促進と家賃引下げで老後までゆとりの住まい。

M5. 農業の魅力：競争力の高い遠野型農業の確立推進、営農支援と担い手育成でふるさとの基幹産業を強化。

―― 佐々木あつお 役職 ―――

元遠野市農業委員会会長 現花巻農業協同組合宮守地区総代 現遠野地方森林組合理事



ささき 佐々木あつお

親の笑顔が、子どもの笑顔に。

私自身、4人の子育て中の母です。今も子育てに奮闘していますが、年の近い子どもたちが幼かった頃は、家事に育児、仕事に追われる毎日、遠野市が子育てしやすいまちなのかを考える余裕もありませんでした。悩みや不安と向き合う時間もなく、毎日が慌ただしく過ぎていきました。それでも、子どもたちの成長や笑顔に励まされ、「頑張ろう」と思える日々でもありました。そして、その毎日乗り越えられたのは、家族をはじめ地域の皆さんに支えていただいたおかげです。その感謝を胸に、今度は私も支える側として、誰もが安心して暮らせる遠野を目指します。

子育てしやすいまちへ

子育て世代が安心して暮らせる環境づくり



「人」の可能性を育む教育

一人ひとりの「できる」を伸ばす教育へ



地域産業と地産地消の推進

地域の魅力を生かし、未来につなぐ



安心して暮らせる地域づくり

誰もが安心して暮らし続けられる遠野へ



あべ まなみ

阿部 まなみ

(この選挙公報は、候補者から提出された掲載文をそのまま写真複製版によって印刷したものです。)(この選挙公報は4ページです。)

令和8年
10月25日執行

遠野市議会議員選挙公報

遠野市選挙
管理委員会

Vision

～さらなる挑戦～

- 人口減少・高齢化社会に対応した地域づくり
- 希望する出会い・結婚・妊娠・出産・子育て・教育・若者支援の充実
- 暮らしを支える医療・介護・福祉の充実
- 地域資源を活かした魅力ある産業振興
- 地域防災力の充実
- 文化・芸術・スポーツの振興

小林たつえいの主な実績

結婚・子育て

- 5歳児健診の推進
- 結婚新生活支援事業（結婚に伴う新居への引っ越しなどの補助）の実施
- 思春期教育の実施を後押し（プレコンセプションケアの推進）

地域活性化・産業振興

- 企業版ふるさと納税の対象事業の拡大
- 畜産農家の飼養や出荷への支援
- し尿汲み取り事業者への支援
- 馬事振興の充実（馬事振興施設の老朽化対策、長寿命化への支援）
- 地方就職支援金事業の実施
- ふるさと納税の推進（現地型決済の導入など）

教育

- 学校図書館の蔵書の充実（開架基準の明確化を推進し、量と質の向上）

安心安全

- マンホール周辺部の路面改善（中央通り）
- 丁字路の停止線の位置の改善（上郷町）

経済の基盤の改善（新町）

- 防犯灯の新設・設置場所の変更（早瀬町）
- AEDマップアプリの活用推進
- 防災士制度を活用した地域防災力の向上（自主防災組織を対象に防災士養成研修会の開催）
- 熊の出没情報の充実

医療・介護・福祉・共生社会

- サニタリーボックス（使用済み生理用品等を廃棄するゴミ箱）を新庁舎の男性用トイレ個室に設置
- 養護老人ホームの熱中症対策の推進（エアコン設置への支援）
- 帯状疱疹ワクチン予防接種費用の助成（50歳以上）
- アピランスケアの拡充（胸部補正器具を追加）
- 認知症サポーターのスキルアップの推進
- 難聴者向けの対応支援スピーカの導入
- メンタルヘルス対策の推進（「こころの体温計」の導入）

議会改革

- 議会だより紙面の見直し、市民参加の推進
- 議会公式YouTubeの開設等、広報広聴の充実

小林たつえい

公明党公認
こばやし

プロフィール

昭和50年4月 福島県出身、51歳。
福島県立農業短期大学校農学部畜産学科を卒業後、遠野市畜産振興公社「遠野馬の里」に就職し、競走馬や乗用馬の育成に励む。その間、遠野テレビ市民キャスターも経験。
平成26年10月 遠野市議会 初当選。現在3期目

若者が帰って来たくなるまちづくり

- シルバー世代が光り輝く里づくり
- 利益が市内で循環する仕組みづくり
- 通年で働く場所を確保する仕組みづくり
- 重文千葉家の全国発信
- 新たな観光戦略推進支援

菊池よしゆき

ふるさと遠野の未来創造のために、動いて、動いて、動いてまいります。

期日前投票を活用しましょう！

○期日前投票期間は、十月十九日（月曜日）から十月二十四日（土曜日）までです。

○次のような方は、期日前投票ができます。

- ・投票日にお仕事や学校、冠婚葬祭などの予定のある方
- ・レジャーやお買い物物の私用で、投票日に投票区内にいない方
- ・天災や悪天候等により、投票日に、投票所に行くことが困難と見込まれる場合

・投票日当日の混雑緩和等のため、期日前投票を希望する場合

○あらかじめ入場券裏面の期日前投票宣誓書を記入し、ご来場ください。

期日前投票所一覧

期日前投票場所	投票時間
遠野市役所本庁舎	午前8時半から午後8時まで
宮守総合支所	

新しい遠野は市民の手で創る

各種事業の本質的な検証を行う

市内の既存企業に対する支援を強化する

ITによるまちづくりの推進

社会教育活動の充実

障がい者の自立に向けて

市民の期待に応えられる議会に

小松まさみ

投票所一覧	
投票区名	投票場所
遠野投票区	遠野市役所本庁舎
綾織投票区	綾織地区センター
小友第1投票区	小友地区センター
小友第2投票区	長野地区コミュニティ消防センター
小友第3投票区	鷹鳥屋コミュニティセンター
附馬牛第1投票区	附馬牛地区センター
附馬牛第2投票区	東禅寺地区コミュニティ消防センター
松崎第1投票区	駒木地区コミュニティ消防センター
松崎第2投票区	旧松崎地区センター
松崎第3投票区	光興寺地区コミュニティ消防センター
松崎第4投票区	遠野市総合福祉センター
土淵第1投票区	土淵地区センター
土淵第2投票区	山口地区コミュニティ消防センター
土淵第3投票区	栃内地区コミュニティ消防センター
青笹投票区	青笹地区センター
上郷第1投票区	上郷地区センター
上郷第2投票区	佐比内地区コミュニティ消防センター
上郷第3投票区	平倉公民館
宮守第1投票区	宮守総合支所
宮守第2投票区	上宮守地区多目的集会施設
達曽部第1投票区	達曽部多目的研修集会施設
達曽部第2投票区	中斉生活改善センター
鱒沢投票区	鱒沢地区センター

子どもと一緒に選挙に行こう

まだ選挙権のない18歳未満のお子さんも、選挙権のある保護者と一緒に投票所に入場することができます。

親子連れ投票は子どもの将来の投票につながります。ぜひ親子で投票所へ足を運んでください。

（この選挙公報は、候補者から提出された掲載文をそのまま写真複製版によって印刷したものです。）（この選挙公報は4ページです。）